

1. 件名：「東海第二発電所の地震等に係る新規制基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング（3）」

2. 日時：令和4年4月25日（月）10時30分～11時40分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門

岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任
安全審査官、中村主任安全審査官、永井主任安全審査
官、大井安全審査専門職、松末技術参与

同 技術基盤グループ 地震・津波研究部門

呉 地震・津波政策研究官

日本原子力発電株式会社 開発計画室 室長代理

他5名※

※テレビ会議システムによる出席

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

資料1 東海第二発電所 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価に
ついて（コメント回答：地盤モデルの妥当性）

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	こちらはメンバーそろったのでもし可能であればですね、少し早いんですが、開始したいと思いますよろしくお願いします。
0:00:11	はい、本件発電中沢でございます。
0:00:15	英文メンバーそろえましたので、
0:00:18	では、
0:00:18	どうもヒアリングよろしくお願いします。はい。よろしくお願いします まず資料の説明からお願いいたします。
0:00:31	はい。
0:00:33	日本原子力発電のイクタマです。
0:00:35	それでは資料、
0:00:38	の説明に入りたいと思い、画面共有しますので、
0:00:42	当間局長尺の通りですね
0:00:45	ページはですね、3 ページ目をお願いいたします。
0:00:52	ところのネット率ということで今回該当するのは3 ページを繰り返しま すがコメントナンバー4 番は、
0:01:01	断層の手法の
0:01:04	影響今回モデルを新しく自分で作ったことの影響に対して、基準地震動 に与える影響の観点からということで、その辺、検討。
0:01:14	今回追加して参りました。
0:01:16	それから5 番は、同じく
0:01:19	地震動評価への影響ということでこれ
0:01:21	類のS s に対する影響検討で、今回はその有無を伊井のS s に対しての 保守性を考慮する前の段階での比較検討を、今回、
0:01:33	それを追加するようということがコメントでしたが、今回それを追加 いたしました。
0:01:38	それから6 番のコメントは、L A N 水槽の振幅包絡線の諸元の非主事補 詳細説明ということで、
0:01:47	今回ここはマグニチュードについては、先行サイトの検討審議の状況を 踏まえて、
0:01:56	⑯、
0:01:57	連休ではなくて7.0 で変更して、資料の方作ってございます。
0:02:04	それから次の4 ページ目。
0:02:06	のコメントですがこれは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:08	観測記録の位相を使った検討に関するコメントでございますが、
0:02:14	今回
0:02:16	村井県北部、
0:02:17	それから、福島県南部ではこの領域に関しての記録の収集を追加してそれを資料の方に追加した上で、最終的に使ってるサトウ他の説明を資料の方に反映しております。
0:02:31	それから、コメントの 8 番は、
0:02:34	この複数の手法で L A N 水槽と、観測位相、二つ検討して、
0:02:39	最終的に断水層が設定するわけですがその
0:02:42	詳細の説明を追加してございます。
0:02:47	今回、
0:02:48	コメント会としてはこの内容になります。
0:02:51	それで次の 5 ページ目をお願いいたします。
0:02:54	本日の資料の構成でございますが、
0:02:59	一緒に小はこれ
0:03:01	12 月の会議の時の結果を
0:03:05	目的でございますが今回、
0:03:07	3 章以降を、資料の方に追加しております。
0:03:13	それから補足説明資料は、③番。
0:03:16	の内容これコメントの 4 番 5 番に対応するところでこれを新たにつけてございます。
0:03:26	6 ページ以降は、基本的に前回の 12 月の会合の再掲になりますが、
0:03:32	表示標高の家の表記とかあと細かい項目のところは、
0:03:39	今回の資料構成の見直しでございますが、中身は特に書いてございませんので、詳細は割愛いたしたい、したいと思います。
0:03:49	それでページは飛びますが、
0:03:52	37 ページを、
0:03:54	お願いいたします。
0:03:58	ここからが、
0:04:00	今回せ、
0:04:02	※で該当するところになりますますがまず 3、3 章の議案作成の方針ということで、
0:04:09	東海医大の地下構造は地震基盤相当面と、解放基盤の深さが異なりますので、その間の、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:18	伝播の影響を適切に評価する観点から、
0:04:22	複数の思いは、位相考慮して、検討してございます。
0:04:27	一つは許認可の結実績のある乱數位相を用いた方法と、
0:04:33	あともう一つ実現象を評価することができる観測実観測記録を使った位相を、
0:04:41	検討対象としてございます。
0:04:44	それで
0:04:45	表にあります地震基盤相当面で、それぞれの
0:04:49	宇井羽生を作って、それで解放基盤まで立ち上げた上で、
0:04:55	この
0:04:57	地震基盤相当面から解放基盤までの伝播特性に与える影響をして最終的に代表性のある位相を採用すると、こういう方針で検討を行ってございます。
0:05:10	次の 38 ページをです。まず、乱數位相をでございますが、
0:05:16	ここは、
0:05:17	A Mの設定と X e q の設定と書いてございますが、濱口井戸については、
0:05:23	もともとガイドの方には、湯田で 6.5 程度未満という幅を、
0:05:28	持って示されているので、換算式からまず中度を求めた間口に対しても、保守的に、
0:05:35	現状として評価したということでございます。
0:05:41	で、次の 39 ページを目指す。これ今回、親族包絡する間口の並び替えて、
0:05:49	再度作った波でございますが加速度は計と、速度発見それぞれ載せてございます。
0:05:56	それから、40 ページをいたします。これは
0:06:01	応答スペクトルになりますが、標準応答スペクトルとを実際作った。
0:06:06	宮野をトピック重ねて示してございます。
0:06:11	それから 41 ページ、これ適合性の確認ですが、
0:06:16	電気協会の適合度の条件にしたがって、応答スペクトル比とそれから応答スペクトル強度値の値、比率 S I 比を
0:06:29	あのくらい綺麗として、これの確認をして、今満足性を確認したというものでございます。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:36	以上が断水そうですが、次の 42 ページからが実観測記録の埋葬ということで、
0:06:42	まずハウスイですが、
0:06:44	まずこの①に書きましたように敷地でとれた観測記録を整理してもその中から適切なものがあれば、それを使って
0:06:54	丸さんの思いは作成するというのが、
0:06:57	一つ考えられますが、敷地に適切なものがない場合には、この②番の方に書いたように、
0:07:04	まず敷地周辺の記録に目を向けてですねその中から、前田ということで、
0:07:10	東海大の場合、敷地と、それからその北側の領域にかけては、引張応力場という特徴があってそこで正断層の記録が、
0:07:21	多く発生してますので、その中から記録を、を選定して、
0:07:26	無為はを作ると、こういう方針でございます。
0:07:30	43 ページをいたす。
0:07:33	まず敷地の観測記録の
0:07:36	収集ですが、この左上に書いてある、選定条件、
0:07:40	抽出してございますが、基本的には半径
0:07:45	10 キロ以内のものを使うということですがその中では記憶がない、ございませんでしたので、
0:07:52	まず敷地での記録はちょっと使いにくいなというふうに考えています。
0:07:57	仮に半径を 30 キロに広げたものがこの
0:08:01	資料分布図と等、その中でとれたものを地方に示してございますが、
0:08:07	大体 20 キロの後半から 30 秒のところで今ようやく記録があるということでちょっとこれ、遠くなるということでこういったものはちょっと今回は、
0:08:16	で用いないということで考えています。
0:08:21	それから 44 ページ、まず敷地の周辺の記録という、
0:08:27	ことで、
0:08:30	409 回の会合、
0:08:33	新屋特定せずの許可の会合のときに、
0:08:37	説明した資料を、
0:08:40	基本的にそのまま再掲ということで項目のタイトルとかちょっと

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:08:45	並びの説明の、今回の説明できた項目、書いてますがそれ以外基本的債権という形で示してございます。
0:08:53	これ今西の達の下で、他の知見で、
0:08:57	福島茨城の研究の礫山清断層、
0:09:00	であるということをお勧めしたものでございます。
0:09:04	それから次の 45 ページのこれも、
0:09:06	既許可のときの、
0:09:08	震源を特定せずの資料から持ってきたものですが、
0:09:13	茨城北部
0:09:16	の領域とそれから、
0:09:18	東海サイトの含む領域ですねこれ下のグラフの、
0:09:22	ところですが、
0:09:24	その中で G N S S の記録を使って、その領域のひずみを調べたものですが、いずれも非東西引っ張りの応力場になっているというものを確認したというものでございます。
0:09:40	それから 46 ページをお願いいたします。今後 9 番土岐の浅井経営最近の一部修正してございますが、
0:09:49	うん。
0:09:50	福島県浜通りから茨城緑茶の正断層を地震が起きていると、こういうのを、
0:09:57	それでテキストボックスのところは、今回の頂上とステップ会合の、
0:10:03	文言、資料にあるようなふうにし、記載を修正していますが、基本的にこの茨城北部の領域から記録を収集整理するということで考えております。
0:10:15	次の 47 ページを開いた
0:10:19	これ
0:10:21	左上に収集状況を書きましたがここでも、
0:10:27	観測点各観測点から 10 キロ以内といったものを設定してます。
0:10:33	それから地盤条件としては、V S が地震基盤相当面、
0:10:38	の条件が合ってるの選んでござい。
0:10:42	最終的にこの条件に、
0:10:46	弘合わせると、
0:10:47	観測点としては、I B R H 13 高萩と、
0:10:51	同じくアイヴィ R H 14-10 をこの 2 地点がございまして、その中で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:10:57	2 ページキロ以内でとれたものを、この表にリストアップしてごさいます。
0:11:03	網掛けのものはちょっと半径 10 キロより遠い遠いのでちょっと吸収対象から外してますが、基本的にこの白抜きのを収集対象としていただき、
0:11:14	それで 48 ページは
0:11:16	最終的には、全部で、
0:11:19	11 時ありますが、そのメカニズム解をを示すということで、これはいずれも正断層型であるということですね。
0:11:29	それから 49 ページは、
0:11:32	先ほど抽出した観測記録を、
0:11:34	これは新風を基準化して、重ね描いたものをでございしますが、
0:11:40	そこに合わせて、
0:11:42	L A N 水槽で使った時の振幅包絡線を比較のために載せてございしますが、いずれにしても主要動とかそういったところの継続時間は、
0:11:53	断層に比べて、記録の場合、短いということを確認でございします。
0:12:00	それから、50 ページ目をお願いいたします。
0:12:04	これは、
0:12:05	選んだ記録の中から、最終的には、
0:12:09	2011 年茨城北部の地震、この記録を
0:12:15	キックネットの高萩で観測した記録がございしますがこれは、
0:12:20	安里ほか 2019 によって、
0:12:23	地震基盤相当面での
0:12:26	露頭機の基盤羽賀が推定されていますので、この位相を使って、
0:12:32	宮尾作成するということでございします。
0:12:36	51 ページ。
0:12:38	になりますが、ここは、
0:12:41	ところのサトウ他の詳細ということで、
0:12:46	これ
0:12:49	茨城北部の 201011 年の記録が非常に振幅が大きいので、非線形性が大分入っているということです。その線形性を精度よく評価するために、
0:13:03	検討したものでございしますが具体的には、
0:13:06	この有効ひずみ係数ですね、これは一般的な慣用的に、
0:13:11	R E D Y の部分を使いますがそれを地盤の層ごとに最適化して

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:17	基盤はの製造を高めて求めたというものになります
0:13:25	最終的なられたものはこの左、右側のスペクトル図になります。これは基盤はノートスペックという、
0:13:32	この椅子を使ってむやを作るとのことですがそれ次の 52 ページをお願い。
0:13:40	浦檀が佐藤他の 2019 年の 2011 の露頭の基盤になります。
0:13:50	上限については、サトウ他では使ってませんので、これサトウ他に基づいて、
0:13:58	地盤調査をしていますのでその結果に基づいて、上下についてはまた別途、基盤を推定したのを使ってございます
0:14:07	それで下段が作成した模擬地震はで、それぞれ観測の加速度と速度発見それぞれ栄誉示してございます。
0:14:17	次の 53 ページ。
0:14:20	応答スペクトルでございますが、下の欄水槽と、
0:14:25	これは赤線でそれから実観測記録の位相を合わせて、せ、
0:14:30	数えて、
0:14:32	比較してございます。
0:14:35	次の 54 ページを、
0:14:39	を
0:14:40	を観測磯の茂木伴に対して、これ先ほど断層と同じように、
0:14:45	結局、確認ということでこれも
0:14:50	応答スペクトル比と S I 比、
0:14:52	両方で満足しているということを確認したというものでございます。
0:14:58	から 55 ページですね、ここからの解放基盤表面での地震動の評価ということで、
0:15:05	ここは 11 月の会合で示した地盤を使って、
0:15:10	地震基盤相当面に入力して解放基盤まで引き上げるということで、
0:15:15	評価を行います。
0:15:18	その結果は 56 ページをお願いいたします。
0:15:25	和田に、
0:15:26	加速度は計、ダンス一つ選ん水層の、
0:15:31	家族は系、それから下段に、
0:15:34	実観測記録を使った神谷の加速度八景をそれぞれ説明してございます。
0:15:42	それから、57 ページは、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:15:45	応答スペクトルでそれぞれ、複数の手法の応答スペクトルを、を書いたものをください
0:15:54	それから、58 ページを、
0:15:59	ここからは
0:16:01	作った、複数の手法で作っても違反に対してその比較検討を行うということで、
0:16:08	企画の項目としては時刻歴八景、それから元スペクトルそれからフーリエスペクトル、
0:16:14	この項目に着目して、ここに書いてある着眼点に基づいて、企画検討を、
0:16:22	わかりました。
0:16:24	その結果は、
0:16:26	59 ページをお願いいたします。
0:16:30	このページはまず水平方向の比較の検討ですが、
0:16:36	下段に地震基盤相当面での 8K。
0:16:40	それから受上段に、下の解放基盤ですので、左側バランス理想で右側が、
0:16:48	実観測記録の位相ということでございます。
0:16:51	それでまず下段の地震基盤相当面で比較してみると、乱數位相の方が、
0:16:58	継続時間がないということが確認、
0:17:03	入りました。
0:17:04	それからそれを解放基盤まで引き上げても、その傾向に同じようなことで、継続時間は断層なんというのと、
0:17:13	振幅包絡形にしてもですね地震基盤相当面東海沖山まで引き上げてもですね、
0:17:18	大きく変わることはない、ないということ、これ
0:17:22	L A N 水素の実損とも、
0:17:24	解放基盤地震基盤と解放基盤、地震基盤相当面とかの基盤で、
0:17:30	何かそういうところから家が大きく変わることはないということをしたものでございます
0:17:35	それから 60 ページです。これ鉛直方向ですが、傾向としては、水平方向と同じという状況でございます。
0:17:47	61 ページをお願いいたし。
0:17:51	浦野から解放基盤での応答スペクトルになりますが、両者大体、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:17:58	同じレベルであるということで、これ具体的にはですね、その次の 62 ページで示しております。
0:18:07	これ、地震基盤相当面での分野は、
0:18:11	これ分母にしてそれで、
0:18:14	分水解放基盤の地震動を分子にして、我々実際に割り勘したのですが、
0:18:21	両者とも、
0:18:24	それが補、ほとんど生じていないということを確認したということでございます。
0:18:30	それから 63 ページは、これフーリエセクトルで、
0:18:34	比較したもので、赤線が乱数 1 になりますが、
0:18:37	これらの欄、トランス 1 の方が封じると大きいということを確認いたしました。
0:18:45	64 ページは、最終的な比較の結果をまとめたものでございますが、
0:18:52	応答スペクトルで見るとほとんど差がないんですが時刻歴は形で見ると、断水層の方が継続時間が長いということと、
0:19:01	ヤフーで見た時の断層の方が、振幅が大きいということで、
0:19:07	最終的にはこの
0:19:10	断水総務ということで、代表。
0:19:14	そうすることとするというふうに考えております。
0:19:18	次の 65 ページですが、
0:19:21	これ S s 最終的にダウン水槽による評価結果プラが 1000 ですが、それと、
0:19:31	基準地震動 S s 無 D R で応答スペクトル手法に基づく基準地震動を比較すると、
0:19:38	一部周期体でを超える、超えますので、新たに、
0:19:43	S s として追加したというものでござい。
0:19:47	次の 66 ページは、
0:19:49	これ
0:19:51	他のもので、評価の時のすべての
0:19:54	S s とを重ねられたものでございますが、今回、
0:19:59	標準応答スペクトルに基づき策定したものは、施設 32 番として、
0:20:04	追加、
0:20:05	津田というものでござい。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:08	から 67 ページにつきましては、
0:20:12	2032 番ね、標準応答スペクトルに基づく整数ですが、
0:20:17	これは加速度はしっかりとそこだけそれぞれ記してございます。
0:20:22	から 68 ページは、S s の加速度ucciの一覧ということで、
0:20:28	一番下の 32 番に、それぞれが進めてください。
0:20:34	から 69 ページは、
0:20:37	これは地盤モデルの
0:20:41	内容も含めて、
0:20:42	今回資料全体のまとめということで、このように
0:20:47	記載してございます。
0:20:50	以上は本編の説明になりますが、次の補足説明資料で、
0:20:57	71 ページをお願いいたします。
0:21:02	今①②は、12 月の会合で示したのになります、③が今回、すごい加えたもので、まず両括弧 1 で、
0:21:13	断層モデル手法による、
0:21:15	S s - N 木本それから、
0:21:18	両括弧 2 で、節 31 番 P R A の留萌はへの影響ということで、
0:21:23	これ資料を
0:21:26	ありがとうございます。
0:21:27	ページはですねちょっと飛びますが、
0:21:30	84 ページを売り、
0:21:37	まず、断層で手法による影響検討ということで、
0:21:42	このページは、基本的に 7 月のときの会合で示したものととは基本的に同じですがその当時、7 月の時には、
0:21:53	基本ケースに対して今比較してございましたが、コメントを踏まえまして実際に基準地震動にの選定しているケースに対して、
0:22:03	評価を行ったというんで、あります。
0:22:08	その結果は、次の 85 ページ、4、
0:22:14	これ
0:22:15	別の 11 番。
0:22:17	ということでこれ
0:22:19	内陸地殻内の地震動評価の S s になりますが、
0:22:25	黒瀬が E G F で、
0:22:27	赤線が S G F、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:22:30	期間の時の S G F の結果による。
0:22:34	それから、緑線が、同様の地盤モデルを使ったときのが緑であって、今回、
0:22:40	今日城東スペクトルの地盤モデルで作成したものがこの補正になります。
0:22:46	そうしますと、この下のテキストボックス箱書きのポツにありましたように、
0:22:51	今回新しく
0:22:54	と S G F を評価しましたので、従来の評価結果と比べて大きく変わることはなくて大体ほぼ同じようなレベル感になってるということを確認いたしましたので、
0:23:06	E G F と S G F の関係に、
0:23:10	影響がないということができましたので、従いまして、E G F で策定した。
0:23:17	基準値整数の 11 番に対しての影響が頼りというものでございます。
0:23:24	それから 86 ページ、これはす。同じく S s の 12 番の内容で、
0:23:33	同じようなものが 88 ページはですねこれ全部内陸地殻内関係の S S で設置、同じようなグラフで、
0:23:42	お示ししてますが傾向としては、
0:23:45	変わりませんので、その中身は割愛いたします。
0:23:50	それで、89 ページを、
0:23:54	ここからは S s の、21 番ということでプレート間地震の、
0:23:58	成立になりますが判例は、内陸地殻内と同じ。
0:24:03	西でござい。
0:24:05	ここでもですね従来切ったモデルと今回の
0:24:10	標準応答スペクトルモデルでの比較というのは、大きく
0:24:15	差が出ているわけではないので、実をレベル感としてほぼ同じでございますので、
0:24:21	E G F で評価した、
0:24:24	結果に影響を与えるものであるということを確認いたします。
0:24:28	従いまして S s の 21 番の評価にも影響を与えないというものでござい。
0:24:35	それから 90 ページは S s - 22 番のどちらもここは傾向は同じでござい
0:24:44	から 91 ページに、これ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:24:47	参考として、
0:24:48	付けた六つの既許可のときの、
0:24:53	資料の再掲ということで、飯野彪社長、能勢手嶋菅野。
0:25:00	このときには基本ケースとし、
0:25:01	で比較してございますのでそれを、
0:25:05	使用したものです。で、
0:25:07	91 ページはモデル図ですが、次の 92 ページは、
0:25:10	その結果ということで
0:25:13	基本ケースに対しては、こういう結果に E G F と S G F の結果をお示し して、それで E G F と S G F でちょっと差が出ている主体があるので、 その
0:25:24	要因をまとめたものがこのテキストの箱書きに書いてあるということ です。
0:25:31	同じように、93 ページは、
0:25:35	プレート間地震についても同じような形で 93 ページのモデル図、それ から、
0:25:40	94 ページの方を、
0:25:45	基本ケースに対しての
0:25:47	比較して、考察したものを
0:25:51	このテキストボックスに変換いただくということでござい。
0:25:57	それから 95 ページを
0:25:59	ここからは、肥後井野先生に対するの影響ということで、
0:26:05	ここは、
0:26:07	7 月の会合から、体裁だけちょっと
0:26:11	広中で直してございます。基本的に同じもので、
0:26:16	それから 96 ページを類です。
0:26:21	とりハの検討は、
0:26:25	もともと佐藤他の 2013、
0:26:28	うん。これに半年二つパソコンしたものを入力として、
0:26:33	それで、硫安のときだったらどういう地盤モデル立ち上げて、
0:26:38	それで、解放基盤評価したものが、この右の緑で書いた、水平では 598 g a l ですが、これに対して補正を講じたのが 2031 年。
0:26:48	それで、もう一方症状とスペクトルしたものがこの一番右端になりま すが前回の

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:26:54	前回といいますか 7 月の時の会議の時にはこの赤の 31 と、本検討って書いてあるこの比較をお示してございますが、これ
0:27:04	コメントを踏まえまして、
0:27:07	31 年補正を加える前の、この緑の状態での、
0:27:11	もう評価。
0:27:12	これも比較に加えてございます。
0:27:17	その結果は、97 ページを
0:27:23	赤線が移設 31 番って、
0:27:26	今回評価として加えたのがこの緑線になります。
0:27:32	3 日、4 日 1000 万円の段階でもですね、これが緑線でそれで、
0:27:37	評定とスペクトルで評価した青線になりますが、
0:27:40	この緑と青というのはほとんどを重ねるっていうことでございますので、
0:27:48	この地盤モデルの間違いというのは、評価結果に影響を与えないということを加来スタッフみたいな
0:27:56	明日、したがいまして
0:27:59	平成 31 番というのはそれにさらに補正を起こしたものですので、その 31 番にも影響を与えないというものを示したものでございます。
0:28:10	説明は以上でございます。
0:28:14	はいありがとうございました。規制庁側からですね確認したい事項等あればお願いします
0:28:21	はい。江藤規制庁ナガイでございます。私の方はまず、大賀空のところですね適正化をお願いしたいというところで、
0:28:29	3 ページのですね、今回の回答概要の
0:28:33	ところなんですけども、
0:28:36	まず 5 と 6 強調、共通していえるんですけども、最後の結論のところ
0:28:42	で、
0:28:46	影響を与えないではなくて、
0:28:46	当然このコメントの趣旨は、時間、地下構造モデルを変えれば、普通は基準地震動を変更せざるをえなくなる。
0:28:54	可能性がある中で、コメントしてるものなので、基準地震動の評価に影響ではなくて、基準地震動の変更が必要
0:29:06	既許可で認めた基準地震動については変更の必要がないとかそういう、
0:29:10	書きぶりにするのが適切だと我々考えているんですけども、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:15	そこはまず適正化お願いできますか
0:29:19	現在のイクタマです。ご出席のケア承知して確かにおっしゃる通りかと今指摘されておりましたのでちょっと修正したいと思います。
0:29:30	はい。まず、そこはお願いしますで4番の方の、従っての前ですね。
0:29:35	そもそも統計的グリーン関数の評価っていうのは、既許可の時は経験的グリーン関数法の評価の妥当性確認で求めているので、
0:29:45	その趣旨を踏まえて、
0:29:47	ですね、そこも適正化をお願いしたいというところです。
0:29:53	次、6番の、
0:29:55	コメント会議を
0:29:57	回答概要の開発ですけども、これ
0:30:01	先日の四国電力の会合でも我々申し上げていると思うんですけども、
0:30:06	この地震、断水のための地震規模も、
0:30:10	震源距離、等価震源距離 X_{eq} も、
0:30:13	あくまで振幅包絡線の設定のためのものであると。
0:30:18	いうふうに我々はとらえているので、四国電力の会合の際の、
0:30:23	我々のコメント趣旨を踏まえてですねもうちょっと適正、我々の
0:30:28	コメントに即してるような書きぶりにしていただければと思います。
0:30:35	はい。原点の幾つ
0:30:37	4電さんの会合のやりとりを踏まえてちょっとこの記載は適正化したいと思います。
0:30:45	はい。回答概要のところで最後になりますけども、7番なんですが、
0:30:51	これエッセンスは資料見ると入っているので、そこをちゃんと引っ張っていただきたいなというところなんですけども。
0:30:59	そもそもこのコメントの趣旨は式の記録じゃなくて高橋の記録は何でこの今回の標準を落とすとともに自身が作るにあたって評価に使えるのかと。
0:31:11	いうところの説明を求めている。
0:31:13	ところであって、
0:31:15	例えば、
0:31:18	今回の御説明であれば、43ページの左下、
0:31:25	にあるように地震であれば、敷地直下と似たようなテクトニック者環境下にあると。
0:31:32	いった話だとか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:34	高橋の観測点と、敷地で、
0:31:37	比べて差異がないといったところ。
0:31:43	説明をされているので、そこ回答概要の方に、
0:31:47	入れていただければと思いますけども、そこはちょっとセイリガクの問題なんで、
0:31:53	我々のコメントし合うような回答がいいようにしていただければと思うんですけども、内容として入っていると私はとらえているので、
0:32:00	単純にどこを引用するかというところを変えた問題だと思うんですが、いかがですか。
0:32:07	そうしますと
0:32:09	久米の趣旨に踏まえ、ちゃんと対応する形で
0:32:14	コメント概要の記載のほうを適正化したいと思います。
0:32:20	はい。また外厚はそういったところかと思う。もっと関連して細かいところもあるんですが後から、私の方からコメントしたいと思いますので先に他の審査官から事実確認。
0:32:32	あればと思いますので、とりあえず私は一旦切ります。
0:33:12	すいませんサトウですけども、ちょっと二つぐらい教えて欲しいんですけどね。
0:33:17	当観測記録を
0:33:22	幾つだっけ、収集して、
0:33:26	最後、最後ですね、2011 年の
0:33:30	3 月、
0:33:32	何日の記録を
0:33:35	使うところがあるんですけど、これか、50 ページのところか。
0:33:40	3 月 19 日の記録を使うところがあるんですけども、
0:33:46	その前のページでね、その前のページでね 11 地震ありましたって、その中からこれを選び出したその
0:33:55	理由をもう 1 回説明をしていただくことができますか。
0:34:00	はい。現在のイクタマです。
0:34:04	49 ページでいろいろ複数キ口食うを、
0:34:09	集めた中で、最終的に 2011 年の 3 月 19 日のものを使う。
0:34:15	わけですが、これは、
0:34:17	50 ページ、
0:34:21	ところの一番最初の■のところにもきましたように

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:34:27	これは高萩のキ口。
0:34:29	空がこの時の記録がとれてるんですが、
0:34:34	ここの記録について佐藤ほかの文献で、千葉家の推定がなされております。それで、
0:34:43	やはり位相を使うときには、
0:34:47	聞くネットの地中の記録は、
0:34:50	上昇はとか後半が両方入ったような形の埋葬になってしまいますので、
0:34:58	そこは、今回の碑文谷を作るときの遺贈としては、そういうか後半の影響が入った。
0:35:05	ものではなくて、ちょっとはぎ取ったあの露頭はの状態にしたものの、
0:35:12	移送を使うのが、今回の検討に、
0:35:16	より適切ではないかというふうに考えましたのでそのそういう観点で、佐藤ほかで、ちょうどこの頃、これあの時、地震基盤相当面ですね。
0:35:27	位置での記録を、
0:35:30	露頭はという形で評価をしているので、それは、今回の
0:35:35	兵藤と瀬野宇井は、位相として
0:35:38	適していると、いうふうに考えましたので、そういう観点で、
0:35:44	2011 年の記録を使ったということでございます。
0:35:50	うん。はい、佐藤ですけども、趣旨はわかった。
0:35:53	わかってはいます。いるんですけども。そうずっとねいろいろ観測記録とれましたけどっていう話はあるんだけど結局その、
0:36:02	この佐藤ほか 1000、2019 では、
0:36:05	これを使ってはぎとれる、はぎ取ったっていう、いわゆる気持ち的にこの記録しか何か最初から
0:36:15	使えばよかったんじゃないかっていうところになっちゃうんだけど、
0:36:19	そこそこのロジックをちょっと教えて欲しいんですけどね。
0:36:23	結局はこれしか使えませんかという話だと思うんですけど、いろいろその死守してみましたっていうのはいいんだけど、
0:36:32	そうです。はい。
0:36:35	根井。
0:36:36	最終的にこの佐藤ほか、
0:36:41	この茨城北部では
0:36:43	はぎとった記録というのは今度、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:36:45	2011 年の記録しかないのそういう意味ではもう、この記録しかないと言えはそうなんですけど、
0:36:54	この
0:36:55	49 ページでは、まずいろいろ、
0:36:59	記録を比較してみてですね、まず傾向としてそんなに変なものではないということ、一旦、整理するというのも、
0:37:11	確認するというのが、適切かなと思ったのでまず一旦そういう整理をしたというのと、
0:37:17	あと
0:37:19	47 ページを、以来、
0:37:23	いただいて、
0:37:25	ここの、
0:37:26	真の距離が、
0:37:28	書いてあるんですがいろいろ
0:37:31	比較をして、いろいろ記録を集めて見た中でですね、
0:37:37	やはりこの、
0:37:39	②番の
0:37:41	記録高萩取れたというのは、口の距離 1 キロで、
0:37:46	非常に地下 1 階というところで、これは
0:37:51	特定せずとして想定する中では一番近いところの記録の位相というのは、
0:37:57	改めて確認できたということもあるんで、
0:38:01	そういうそういう観点で、
0:38:03	いつ、
0:38:04	どの記録の確認をして、
0:38:07	その中から、一番黄色近いというのを確認したのと、
0:38:11	ちょっと佐藤岡。
0:38:13	で、
0:38:16	一番推定されてると、そういうプロセスで、
0:38:21	最終的にこの 2011 の記録を使ったと、そういう経緯でございます。
0:38:28	そしたらちょっとその趣旨はもうちょっと書いてもらった方がいいのかもしれませんけどね。うん。
0:38:33	ちょっと書き方おまかせしますけどね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:36	あ、ごめんなさい、ちょっと北井の方で検討して、多分この地図だけ見るとねちょっとそこがね、ちょっと飛んでるんですよ。多分、私なんかは、印象はありました。
0:38:48	うん。あともう一つは、最後
0:38:53	茂木、一応乱数制限は、乱数位相のやつとそれから実間記録で最後どちら選びますかっていうところなんですけど。
0:39:03	そこの結論に至るところなんですけど、三つの観点で、4、64 ページですか。
0:39:09	三つの観点で検討していますと、一つは時刻歴は系、それからあとオートスペクトル、フーリエスペクトル
0:39:17	でフリースペクトルを取ったのが、
0:39:21	どう、
0:39:21	60 ページよ。
0:39:28	63、63 ですかね。はい。
0:39:31	63 にあるんですけど、
0:39:34	そのフリースペクトルを取るうん。物理的意味というかね。
0:39:40	は、ちょっとどう、どういうことを考えてこれを取ったのかっていうのをちょっと教えて欲しいんですけど。
0:39:47	フーリエスペクトルルーは地震動そのものが持っている新進シンクといえますか背成分の大小に関係するので、
0:40:00	それで
0:40:02	よりシンクの大きいというものを、を確認した上で、それL A N水槽ということだったんで、それで、
0:40:13	プラス1 とったということですが、要するにフーリエとった目的は、地震動も持ってるそのものの
0:40:20	振動する事のす、振幅の成分の大きさを確認したかったというところでございます。
0:40:30	うん。はい。気持ちはわかりました。気持ちはってか、おっしゃる通りだと思いますけども、
0:40:38	これでちょっと、何ていうかね、そのダンス一層の方を選ぶ理由としてこれでいいかっていうところはまだちょっと
0:40:47	うん。
0:40:48	各審査会合で確認をさせていただきますけど、すみません私からのコメントは以上二つです以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:59	規制庁の大井ですけどちょっと私もそのフーリエスペクトルに関して、
0:41:03	ちょっとお伺いしたいんですけど。
0:41:09	えっ。
0:41:13	これ、ごめんなさい、ちょっとあと、
0:41:18	ちょっとすいませんフーリエスペクトル前ですね、オートスペクトルの比較の図で 61 ページ。
0:41:26	61 ページで、
0:41:29	解放基盤表面に引き上げた、
0:41:33	スペクトルが並んでます。が乱數位相と、実間の移送での記録結果が、
0:41:40	ありますけど、
0:41:43	まず、これ
0:41:45	引き上げた際の固有周期ってか
0:41:49	増幅するような周期っていうのはこの何か幾つか、
0:41:53	山が見られているところろうと考えてよろしいんでしょう。
0:41:58	はい。
0:42:00	水平で言えば、
0:42:02	ちょうど周期 1 秒のところに、
0:42:05	盛り上がりがありますがここは、東海第 2 の地盤構造の
0:42:12	地震基盤相当面から、
0:42:14	介護基盤表面までの、
0:42:16	その間の地盤の増幅。
0:42:19	になります。鉛直の方も、
0:42:22	この周期が短くなりますが、0.566 秒とかそのところにピークがあります。これも上下方向の、
0:42:30	同じ地震基盤相当から仮置場と、
0:42:33	地盤の固有周期に相当するところということで、
0:42:39	解釈しております。
0:42:41	ありがとうございますあと、これちょっと、
0:42:48	数なんですかね、その重要施設の。
0:42:53	要するに見るべき周期。
0:42:56	我々が、
0:42:57	その
0:42:58	重視すべき周期体ってのはどうも変なんです
0:43:04	これは、いろんな施設がございますが、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:43:09	東海第 2 の場合だと、周期が大体、
0:43:15	建物周期とかの関係でいくと、0.4 秒から 5 秒よりも、短周期側に、
0:43:25	あと長周期側の斎木藤とか、そういったものが 1 秒より大きいところに存在するということで、
0:43:36	はい。ありがとうございますちょっと中周期体の水平成分のところで、明日方向で、ちょっと時間が、
0:43:42	上回ってるなっていうのが少し
0:43:46	ちょっと思ってたんですけど、事業者としてはその辺はどうお考え。
0:43:52	これはですね
0:43:54	61 ページのオートスペクトルで水平の 0.
0:43:59	234 のところで、
0:44:02	中小北井のところで青線側で上回って菅湖これ
0:44:07	森原を作った段階でこのところがですねちょっと大きめに、
0:44:11	出ているっていうところ。
0:44:14	が、
0:44:15	ございますのでちょっとそういう揉むリハを作った段階での、
0:44:20	差分っていうのを、
0:44:23	取り除くためにですね。それで 61 ページで書いたように、62 ページですね。
0:44:30	これ実際、
0:44:32	地震基盤相当面での森は、
0:44:35	と解放基盤の地震動震度同士で比較したものって、これが最終的にその費比率に
0:44:44	比率といいますかその三原を立ち上げたときの、
0:44:49	応答スペクトルの増幅の割合になると思うんです。こういう形で見ると、
0:44:53	こちらの方が比較としては、より正確にとらえていると思うんですが、こちら 2 とそれほど、
0:45:01	大きな差は出てないかなというふうに、
0:45:05	受けとめてございます。はい、わかりました。
0:45:09	とでちょっとこれは僕がわかってないんでちょっと教えていただきたいんですがフーリエスペクトルの振幅っていうものの、
0:45:17	何ていうんすかね
0:45:20	この 63 ページで見たときのこの

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:45:25	赤瀬が上回ってるなっていう感覚食うと、その応答スペクトルルーの
0:45:32	速度、
0:45:33	その感覚、周期での違いっていうのは、これはあまり、
0:45:39	関係しないんですけどちょっとすいません
0:45:42	素人的な質問で申し訳ない。
0:45:47	このところは都築
0:45:51	と O W T F との関係は、
0:45:54	基本的にそういったような対応になると思いますが、
0:46:00	例えば 59 ページにありますように、
0:46:05	L A N 水槽、
0:46:08	と。
0:46:09	観測位相で大分継続時間が、
0:46:13	異なってる部分もありますのでちょっとそういう、
0:46:18	継続時間が違うというところも、フーリエではちょっと影響が、
0:46:23	63 ページのですね振りでは、ちょっと差が出てきたのかなというふう に、
0:46:29	理解し、そういうふうに認識しているところでございます。
0:46:34	はい、わかりました。継続時間も、
0:46:36	の長さの違いっていうのも、少し関係してるということです。
0:46:41	ありがとうございます。
0:46:43	私から確認は以上です。
0:46:48	すみません規制庁仲村ですけども、1 点だけ、ここ押す言葉の使い方の ところで教えて欲しいんですけども。
0:46:56	今 64 ページのところで、結果的に、
0:47:00	乱水槽の場合と実質観測キロの磯の場合比較したってことで最終、最後 の一番、その 64 ページでいうと一番下ですけど、
0:47:10	乱數位相で代表させるっていう、代表させるって言葉を使ってるんです けども、
0:47:17	これは、
0:47:18	結論的には L A N 水素も実観測記録もどっちもほとんど一緒なんだけど も、とかそういう趣旨があって代表させるっていう言葉を使ってるんで すか、ちょっと使う。
0:47:31	てるの趣旨だけちょっと教えて欲しいんですけど。
0:47:38	これは

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:47:40	実を使ったときの評価。
0:47:45	で、あってそれで、その評価結果をこの欄水槽の分野で何かカバーし切れない、何かそういう領域が、
0:47:54	あれば、ちょっとそこところは、
0:47:58	問題なんだと思うんですけども、今回の場合は、時刻歴派遣の継続時間とか、いろんな尺度で見ても、
0:48:05	断水層の違反の方が、新規が大きかったり、継続時間が長いということがあるので、
0:48:12	檀水槽でやっておけば、実移送での評価の、
0:48:16	取りこぼしがないといいますかそういうことで、断水層で代表させると、そういう趣旨で記載をしているという、そういう事実、記載をしております。
0:48:30	使われてる趣旨は理解したんですけども、代表させるっていうのが駄目というわけではないんですけども何かぼやっとした言い方かなと、他のページにも何か、
0:48:41	頭の方とかでも代表させるっていうのがあったんですけど、
0:48:45	普通で言ったら、採用するとか選定するとか何か、
0:48:49	ピシッと云った方が明確になるかなと思ったんですけど、どうしてかなっていうことでちょっと確認をしました。
0:48:57	絶対駄目っていうわけではないんですけど、
0:48:59	ちょっと明確じゃないなというところで趣旨を確認しました。
0:49:05	私はよろしいでしょうか。はい。
0:49:10	あとこのところは今の採用するという表現がありますちょっとそこは、検討してちょっと適正、適切なちょっと表現にちょっと考えたいと思います。
0:49:21	はい。仲村ですけど。後、ご検討ください。
0:49:33	規制庁のウーです
0:49:36	私は丹の確認だけで 65 ページの方で何か
0:49:41	結論通して一部の縮退においてきちんと地震動 $S_s - D1$ の方が、
0:49:48	を上回った
0:49:50	上回ってる、何か結論して、この周期代が 1 秒 2 秒の間のみですから例えばまた周期体、
0:49:57	0 点。
0:49:58	テロ工業の名切りところで、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:50:01	あそこが、
0:50:03	何かほぼ、
0:50:05	四つが載ってるぐらいでも対照関係が教えていただきたいと思うんです。
0:50:11	はい。
0:50:13	一部周期体というのは具体的なですね水平方向の、
0:50:19	一番、1秒に物が大きくてわかりますが、あと、
0:50:22	同じく水平方向ですね、0.
0:50:26	400秒のところに黒線と赤線がほぼ重なってるところありますが、ここの、
0:50:31	厳密に赤線の方がちょっとわずかなんですが、上回っておりますのでその
0:50:39	周期体を超えているというところでございます。鉛直の方は、全周期立てさしてもらってございますが水平の方で、
0:50:47	意味申し上げた周期で超えているということでございます。
0:50:57	ありがとうございます
0:50:59	甘み見づらいですけど拡大線形等価先行サイトの方がそこがねまずは今回、
0:51:05	選んだのは別に大丈夫と思いますが、
0:51:09	もし、南和の横江江原内のばい煙が且つ必要と思います今回多分、
0:51:15	その辺、
0:51:22	きちっとナガイですけども、
0:51:24	先ほどからあった話っていうのは7月の会合でミツイの方からも、コメントさせていただいて確認しているところですので、
0:51:33	ウワー、提案通りですね扇形のずっと大岡後拡大図。
0:51:38	というのを会合資料では追加をしていただきたいと思いますのご対応可能でしょうか。
0:51:44	生じました。ちょっと対応したいと思います。
0:51:50	はい。その点はよろしくお願いします。引き続き私の方から、若干かぶるところもございますが、事実確認をさせていただきます。
0:52:01	まずですね、フーリエスペクトル63ページ話ですが、
0:52:06	これ新手黒いスペクトルだと思うんですけど振幅をとったっていう。
0:52:11	考え方を教えてください。例えばパワースペクトルで振幅の事情をとるということも、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:52:17	一つ考え方としてはあると思うんですが、そこは考え方確認させてください。
0:52:27	パワースペクトルをフーリエの振幅スペックと基本的に
0:52:33	例えばパワースペクトルだと、フーリエの振幅の間に 2 乗に近いものというふうに、
0:52:41	考えておりますので相対的な関係はあまり変わらないかなとも思いますのでここはよく使う、一般的フーリエというのは抜かれる、
0:52:53	示し方だと思いますのでそこでフーリエの方を扱ったということでございます。
0:53:00	はい。ナガイですわかりました。あともう 1 点はですね、応答スペクトルの方では、
0:53:06	62 ページまで応答スペクトル比、いわゆる、
0:53:10	地盤の増幅による影響の部分を取り出しているんですけども、藤江スペクトルに関してそれをやってない、やらなかったし、もしくは示してない、どれが正しいかわかりませんが、
0:53:20	少なくとも資料には載っておりませんけどもその点はどういうふうにお考えで、載せてないんでしょう。
0:53:30	と、
0:53:31	すいません文字、62 ページと同じような比率の取り方を、63 ページのふうでも、やらなかった理由っていう、そういう、
0:53:42	ご指摘の、
0:53:43	質問でしょうか。
0:53:46	はい。指摘はなくて事実確認なんで、今までやっていいのかやっていないのか、いや、それともやったけども、今回出していないだけなのかという確認させてくださいという。
0:53:56	そう。すいません。えっとですねそこは費比率フーリエでは、
0:54:01	61 ページのような比率での示し方というのは、特にやっていません。というのはもう 63 ページで、
0:54:08	明らかに赤線の方が大きいということがわかるので、ちょっとそこはもうそれで、
0:54:15	表示としては、
0:54:17	示せる示せているのかなと思いましたんでそういうことで、比率としてはとっていないというところが事実でございます。
0:54:26	はい、わかりました考え方は理解しました。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:54:30	あとはですね、これもさ、サトウからあったところではあるんですけども実観測記録のところ、
0:54:37	図面の事実確認をちょっとスタイルちょっと書いてる内容と説明でちょっと、
0:54:43	すっと入らなかったんですけども、49 ページの図面、
0:54:47	この文章読むところ 0。
0:54:51	収集した観測記録として書かれてもこれ、複数の記録が重ねが書かれているということなんですかね。
0:54:59	ちょっとそこがスッと入ってこなかったんですけど。
0:55:03	はい。複数のキ口食うウーですね
0:55:09	ところの 47 ページに書いてある。
0:55:13	リストのうちの、
0:55:16	網掛けになってるのは、
0:55:19	10 キ口より遠いので、ちょっと検討対策外してますが、
0:55:23	この網掛けになってない。
0:55:27	記録については全部重ねが行ったものが、この 49 ページの、
0:55:33	この図になります。
0:55:36	はい、わかりました。
0:55:38	ちょっとうスッと入ってこなかった理由が私もすべて明確ではないです一つは多分、
0:55:45	図のキャプションかなという気がしてるんですけど収集した観測記録って言って、
0:55:49	そこで何も書いてないから、1 個かなって一瞬思っちゃってましたのでちょっとその辺りはちょっと。
0:55:53	図面が伝わるように、少し工夫を検討していただければと思います。
0:56:00	あ、ごめんなさい凡例の方をちょっともう少し詳しい状況を記載したいと思い、
0:56:07	はい。あと一つその実観測記録を使うにあたってちょっと御社の考え方の、
0:56:13	何ていうかの整合性と言った方がいいのかもしれない、確認したいんですけども。
0:56:17	これ内陸地殻内の検討用地震で F-1 断層からの連動を考えていいと思いますけどそれも正断層で考えてたっていうところで、
0:56:28	今回、観測記録の収集も、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:56:32	いいですか。
0:56:34	地域で起こるであろうと考えている特定せずの地震も特定しての、
0:56:38	検討用地震も正断層で整合がとれているという理解でよろしいですね。
0:56:43	はい。そこはそういうふうに乗せ整合とれてるという、り、そういうふう うに考えております。
0:56:51	わかりました。
0:56:54	えっ。
0:56:56	これは、
0:56:59	あとはすみません、今のお考えをお聞きしたいんですけども、何ページ で言ったほうがいいかなと、構造のモデル比較してるところがいいかな。
0:57:09	今、御社、我々に過去も含めて説明したモデルとしては三つ存在してる わけですけども、
0:57:17	84 ページですね、84 ページに、
0:57:21	三つのモデルが示されてますけども、
0:57:24	どれを正として申請書に今後記載する方向でいるんでしょうか。今のお 考えをお聞かせいただけますか。
0:57:33	これはですね
0:57:36	今、このモデルとしては今、
0:57:39	私は三つ存在していますが、
0:57:42	基本的にはこのモデルとして三つ存在した状態で考えていますそれぞれ れエールをいわゆる文様のモデルで、あと、
0:57:52	標準応答スペクトル標準応答スペクトルとしてのモデルとして作ったも のでございますので、
0:57:58	それはそういう形で、モデルさん残していきたいなというふうに考えて います。
0:58:08	わかりました。今のお考えとしてはそういうことは理解しましたが、少 なく規制庁の立場としては九州電力に、
0:58:15	すでにですね評価トップの会合で、
0:58:18	その点を申し上げていると思いますので、会合までの御社の考え方を再 度整理していただいて会合で議論させていただければと思いますので、
0:58:29	そこら辺りの、そのあたりのですね、準備をお願いしたいと思います。
0:58:36	はい。そうしますモデルの考え方はちょっと整理して、
0:58:40	準備しておきたいと思います。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:58:42	はい。事実確認さについては以上に、
0:58:45	とりあえずしたいと思います。
0:59:04	すいません、長井ですけども、等ですね、実際地下構造の話はもう議論、
0:59:09	終わって、前回で終わってる話なので、
0:59:12	ちょっとまとめる的にちょっと資料、
0:59:15	ですねいくつかはもう補足にまわしてもらえればと思うんですけども、例えばですね。
0:59:20	19 ページからある、
0:59:22	知見のお話、この辺りっていうのも補足資料に落としていただいていいかと思いますので、
0:59:28	ある程度の地下構造モデルまとめ資料になることを意識してね、エッセンスだけ残していただいて、
0:59:35	後半に補足としてまとめていただければと思います。
0:59:42	そう。そう。
0:59:45	その辺資料の整理はちょっとよろしくお願いします。
0:59:49	はい。S s だけ本編残してその他のブロックの補足の方に回すということでは、承知しました。
0:59:57	お願いします。
1:00:11	規制庁の方ですけれども大体事実確認は以上になりますが私も最後、1点だけ確認していただくさせていただきたいのはですね、先ほど 84 ページで地盤までの今現在三つ出てきてますよねという話なんですけど、
1:00:26	今申請書上は、S G F 用の地盤モデルってのは、
1:00:31	具体的に明記されてるんですけどこれ。
1:00:35	はい。申請書上もこの三つが載ってる状況でございます。わかりましたじゃ、今、申請していただいた中にも、昔使っていた、
1:00:46	既許可のときの、S G F 用の地盤モデルが残っているっちゃうことなんです。はい、わかりました。
1:00:51	今回地盤モデルを変えるというのはそもそもいろんなデータがあってですね、標準応答スペクトルを評価するときに、最新の知見を踏まえてこの
1:01:03	標準応答スペクトル用の地盤モデルってのを作られたと思うんですが、先ほどコメントありましたけれども

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:10	あえてS G F用を残さなきゃいかん理屈はちゃんと考えておいていただかなければいけないと思うんですが、そこは何かこだわりがあるんですか。
1:01:19	説明の中にもありましたけれどもE G Fの妥当性を確認するという説明があったんですが、とはいえですねメインはE G Fでやってますということなので、
1:01:30	妥当性というかあくまでもS G Fで作ったものと比べてみてどうなんですかと変なことは起こってませんよねという確認をしたという理解でいるんですけれども。
1:01:41	その上でですね、新しい知見があって新しい地盤モデルを作ったんだけど、古いものを残しますと、一方で今日の説明にもありましたけれども、新しい区作った地盤モデルでも、
1:01:52	一挙比較検討していただいて、今日はやりませんという話をさせていただいてるんですけどもその辺りの頭の整理っていうのはどうなってますか。
1:02:05	はい。
1:02:07	現在のイクタマです。
1:02:09	また申請書上はこの三つのポツでございますが、確かにこの一番左のS G Fよう地盤モデルっていうのは、今のお話もございましたように、
1:02:20	いろんな許可期間以降の知見を踏まえて新しく評価をつけると。
1:02:25	地盤モデル作ったところもありますので、
1:02:28	あえてこれを何でも残す必要は、授受地盤ことについては、ないのかなというふうに、ちょっと考えているところでそこはちょっと改めてちょっと整理したいと思います。
1:02:42	はい。よろしくお願いします。もう1点ですね同じくですね、留萌のモデルについてもその当時多分留萌を評価する上でですね、部門用の地盤モデルっていうのを作られたと。これは
1:02:52	S G Fとちょっと位置付けが違ってるものを評価するために別途作りましたよということなんですけど、今回96ページでしたっけね、標準応答スペクトルヌーのモデルを使って持ち上げたところ、
1:03:05	少し数字が大きくなったんだけど最後Y e a rで持ち上げた610とかですね280よりは、小さくなっていましたという説明をいただきましたけれども、ここは、
1:03:15	どうされますかっていうかお考え何かありますか。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:21	ここはですね
1:03:23	マルマエの方は、ＳＳ、ウーになっているところもございますので、
1:03:30	そこの裏付け、
1:03:32	この評価の過程でこの留萌の地盤モデルというのは、使って 31 ができていますので、そういう評価をトレースしていく中では、
1:03:44	必要な部分の地盤モデルというのは、必要なものをというふうに今は考えております。
1:03:55	はいそうするとですね留萌については別の位置付けであるから残しますというお話と、先ほど申し上げたもともと
1:04:05	企業家で見えていたＳＧＦのモデルという、
1:04:08	真野児嶋についてはちょっと考え直しますということではあるんですが、
1:04:13	そのあたりそれぞれの地盤モデルの考え方とかですね、留萌についての
1:04:20	何ていうんすかね。当初考えていたものと、今回改めて、地盤モデル作ったんだけどそれはもう別物なんですよというところの頭の整理はしておいていただいて、そこ多分介護でもお聞きする話になるんだと思いますんで、
1:04:33	準備をしておいていただければと思います。
1:04:36	私から以上です。
1:04:41	はい。そうします次、準備をして準備準備をして管理看護師になりたいと思います。
1:04:50	と他に何かありますか。
1:04:55	すみません、一遍聞き忘れたことを思い出しました。実観測記録を作るの移送を作るときに、
1:05:02	移送のスペクトルってどうやって与えてるのかだけ確認させてもらえますか。
1:05:08	ページで言うと分。
1:05:10	具体ページを言うと、
1:05:12	52 ページですね、52 ページの処理のところ、
1:05:16	植野は経過したのは、茂木はを作る際に、移送の
1:05:21	スペクトルをそのまま与えているのか、何らか別の形で移送情報を与えてるかちょっとそこの実際の作業所の、
1:05:30	プロセスをちょっと確認させてください。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:34	これこの次、ⅠⅠ記録と実力といいますかこのサトウとか、2019年、この1層をそのまま使っているというものでございます。
1:05:49	時間領域がたっている、スペクトルとして与えてる。
1:05:53	どっちが。
1:05:55	周波数体で考えてるのか。
1:05:57	それとも時間領域で計算してるのか。
1:06:05	と、輸送情報ですのでそれ
1:06:10	振動数領域、
1:06:12	移送
1:06:15	分解してまず
1:06:17	出てきますそれを、
1:06:19	与えているという。
1:06:21	やり方です。
1:06:23	わかりましたすみませんちょっと忘れてたんで、ごめんなさい。ありがとうございます。
1:06:29	はい大体以上だと思うんですが先ほど岩田ですけれども先ほど申し上げたところのですねもう一つちょっと、何て言うんすかね。
1:06:38	審査会合資料までに頭の整理とともに資料の整理もしていただきたいんですが、84ページ以降で、例えばですね、S s -11を従来の
1:06:49	E G Fと、今回の地盤モデルとの比較をやっていただいたりしていますけれども、私やっぱりちょっとよくわかんなかったのになぜ留萌が入ってくる必要があるのかってのがよくわからなかったので、
1:07:00	そういう意味でですね、留萌の地盤モデルの位置付けっていうのをちゃんと整理しといていただいて、回答できるように準備しておいていただけますか。よろしくお願いします。
1:07:10	はい。
1:07:11	所掌事務いたしました。
1:07:14	はい。他になればですね以上にしたいと思いますがよろしいですか。
1:07:21	はい。原燃から何かありますか。
1:07:28	イクタマの方から特にありません。はい。本件ですねえといつでした。
1:07:40	すいませんイワタですけれどもこれ本件、
1:07:44	資料の修正っていつぐらいにできますか。
1:07:52	そうですね。
1:07:58	そうですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:01	との連携も入ります。はい。
1:08:05	はいそうですね。こちらから要は言いたいのはですね今回時間記録について、高木の地震を使いましたというところの整理がですね必ずしも
1:08:16	ダイレクトな回答になっていなかったんでもう少し書いてくださいってことも申し上げたり、あと地盤モデルがいくつかね、あったりするのでですねその辺りの整理をしてくださいということなので場合によってはですね、もう1回ヒアリングした方がいいような気もしますが、どうですかね現在さんとしては、
1:08:34	そうですね。
1:08:36	ちょっと重要なところのご指摘があったと認識してますので、ちょっともう一度、ヒアリングをしていただいた方がいいかなというふうに、こちらも考えてる。
1:08:49	はい、えっという形ですわりましたじゃいつまでというのは決めませんので準備ができた段階でですねまたヒアリングの申し込みをしていただければと思いますので、よろしくお願いいたします。
1:08:58	以上になりますがよろしいですか。
1:09:03	はい。こちらから特にございません。はい、じゃどうも本日ありがとうございますお疲れ様でした。
1:09:10	ありがとうございました。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。